

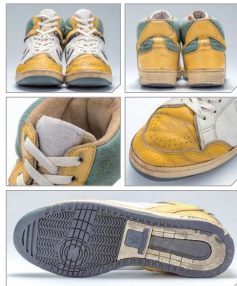
ORIGINAL RELEASE:1986

CONVERSE WEAPON

全世界で約400万足も売れたと伝えられている
ストリートの王様として讃えられたレジェンドスニーカー

80年代中期のNBAのファンにとって、最も思い入れのあるバッシュはナイキでもアディダスでも無く、コンバースのWEAPONかもしれない。そのオリジナルは1986年に発売され、全世界で約400万足のセールスを記録したと伝えられているメグヒット作だ。ホールド性を向上させる“Y-BAR”をはじめ、特筆すべきベックはあるものの、その絶大な人気の理由はマジック・ジョンソンとラリー・バードに起因する部分が大いなのが現実だ。マジック・ジョンソンは史上最高のポイントガードと讃えられ、ラリー・バードは史上最高のスモールフォワードのひとりとして評されている。その2人のレジェンドプレイヤーがNBAのコートで履き、プロモーションでも起用されているのだから人気が出るのも当然だろう。そしてオリジナルの足数が多ければ、数年後にデッドストックやユーズドスニーカーが多く流通するのも当然で、90年代のヴィンテージスニーカーブーム時でも知名度が高く、ストリートの主役となったプロダクトなのだ。

80年代前半のコンバースが主にホワイトをベースカラーにセレクトしていたのに対し、このWEAPONでは鮮やかなチームカラーを落とし込んだバリエーションが展開されていた。その出来栄が非常にクールだと話題を呼び、バスケットボールだけでなく、スニーカーとしてWEAPONを選ぶファンも少なくなかった事も、記録的なヒット作となった要因のひとつなのだろう。そのオリジナルWEAPONの中で特に知名度が高く、ストリートアイコンとなったのが、マジック・ジョンソンが所属したロサンゼルス・レイカーズのチームカラーをサンプリングして、ホワイトとイエロー、そしてパープルを組み合わせたカラーブロックである。ここで紹介するのは1986年発売のオリジナル“LAKERS”で、経年劣化で履き口周りにダメージが蓄積しているものの、印象的なイエローの染色は今も健在。ヴィンテージブームや関西を中心に盛り上がった“ダックフット”ブーム時に多くのファンが憧れた、80年代バッシュ界のレジェンドだ。



LAKERS

CONVERSE WEAPON LEATHER HI CUT

Release year: 1986

資料提供: 14hpon



かつてラリー・バードもNBAのコートで着用した
ウェAPONの中でも高い人気を誇るカラーウェイ

CELTIC

CONVERSE WEAPON LEATHER HI CUT

Release year: 1986

資料提供: n_king0419

ラリー・バードがNBA公式戦で着用した、ブラックとホワイトのオリジナルWEAPON。このシューズを手にして、マジック・ジョンソンと立つ画像も広く知られている。チームカラーであるグリーンではなく、ブラックのWEAPONが選ばれたのは、当時のセルティックスにブラックのバッシュを履く規定があったからだ。



強い印象を残すカラーを排除したバリエーションだが
ヴィンテージスニーカーブーム時の人気度は低かった

WHITE/GRAY

CONVERSE WEAPON LEATHER HI CUT

Release year: 1986

資料提供: n_king0419

先輩が目気になるバスケ部でも使いやすかったであろう、ホワイトとグレーのシンプルなカラーブロックで整えられたオリジナルのWEAPON。ソールの接合部分にある茶色い染みは“ステイン”と呼ばれる劣化した接着剤跡で、オナキ製法が用いられるヴィンテージバッシュで度々見られる症状だ。

